学校番号	304

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ「Tutti＋」（教育出版）						
副教材等	Music Note（啓隆社）歌のミュージックランド（教育芸術社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと、観て聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。

・学習の到達度は、ノートやプリントでのワークや実技テストで評価します。

・音楽の学習は、皆で美しいハーモニーを創って感じ合うことで皆さんの感性を育みます。授業で協力しあうこともとても大切です。

・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

曲想と音楽の構造を理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

感性を高めて音楽の良さを感じ取り、それを生かして創造的に表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国や西洋音楽を含む諸外国の音楽を学習し、それぞれの音楽文化の特性や良さを感受すると共に多様な音楽観の育成を図り、主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。感受したことを言語化できるようにする。	主体的、協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情をはぐくむとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	世界の歌 校歌 『 Santa Lucia 』 『Heidenröslein』 『この道』	a: 表現したいことを伝える為の歌唱の技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取
	器楽	【器楽】ｱﾙﾄﾘｺｰﾀﾞｰ二重奏 『島唄』 箏の奏法 DVD 鑑賞後実技	a: 表現したいことを伝える為の技能を身に付けている。 c: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 a:表現したいことを伝える為の演奏の技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、表現する。 c: 箏の特徴や奏法を学ぶと共に日本音楽の特徴も感じる。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取
	鑑賞	西洋音楽の鑑賞「中世～ﾛﾏﾝ派」まで 音楽映画鑑賞『アラジン』	a:時代を経るに従った、それぞれの背景を伴った音楽の変遷を知る。 b:音楽の持つ力、美しさを感じ取る。 C:社会にとっての音楽の意味や価値について考える。	観察、ワークシート	観察、ワークシート	観察、ワークシート

2学期	歌唱	2重唱「A whole new world」	a: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、英語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取
	器楽	【ギター】 アポヤンド奏法で『きらきら星』『喜びの歌』『荒城の月』の弾き語り	a: ギターの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取
	器楽	ボディパーカッション『Beat Canon』	a:楽譜を正確に読み取る。 b:体を使って表現する。 c:楽曲の曲想について互いに共通の意識をもって、音楽を作り出す。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取
	鑑賞	＊西洋音楽の鑑賞『ﾛﾏﾝ派～現代』 ＊音楽映画鑑賞『レミゼラブル』	a:時代を経るに従った、それぞれの背景を伴った音楽の変遷を知る。 b:音楽の持つ力、美しさを感じ取る。 C:社会にとっての音楽の意味や価値について考える。	観察、ワークシート	観察、ワークシート	観察、ワークシート

三学期	器楽	ギター弾き語り 『ﾛﾝｸﾞﾛﾝｸﾞｱｺﾞｰ』『ｻﾝﾀﾙﾁｱ』『聖夜』	c:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 a:アルアイレ奏法で創造的に表現している。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取
		混声3部合唱『春に』	a:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 b:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 c:曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取	観察、演奏の聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度